

平成27年度
鉄道安全報告書



上田電鉄株式会社

ごあいさつ

上田電鉄の安全報告書をご覧いただき、誠にありがとうございます。

鉄道事業の運営に当っては、施設・車両の不具合やヒューマンエラーに加え、甚大な被害をもたらす異常気象など様々なリスクがあり、安全を確保するには、このようなリスクをしっかりと認識し対応していくことが重要であると考えております。本報告書は、このような考え方にに基づき、より安全性を高めるための方針や施策を報告するものです。

私どもは、鉄道をご利用のお客様や沿線にお住いの皆様、加えて、社員や協力企業メンバーの「安全・安心」を確保し、地域から信頼される鉄道を目指して取り組んでまいります。本報告書でのお気づきの点やご意見などをお寄せいただければ幸いです。

2015年9月

上田電鉄株式会社

代表取締役社長 今成 孝雄

1. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です「安全方針」「行動規範」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

【安全方針】

「安全の確保」は鉄道事業の最大かつ最重要の、お客さまに対する責務である。その安全は、役職員一人ひとりがルールの意義を認識しかつ遵守し、正則作業を確実に遂行することによって支えられている。

私たちは鉄道事業を担う誇りを共に持ち、役職員相互の双方向コミュニケーションをしっかりと行い、安全の障害となる問題を一体となって速やかに解決し、このお客さまに対する責務を誠実に果たし社会に貢献する。

【行動規範】

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正・忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。

- ④ 職務の遂行に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱をする。
- ⑤ 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標 (平成27年度)

平成23年度～27年度の5か年計画で、当社の責任による「列車事故(衝突、脱線等)」「人身障害事故」「踏切障害事故」を発生させないため、鉄道輸送安全目標および重点施策を掲げ、推進することにより安全輸送に努めてまいります。

当社における鉄道輸送安全目標

鉄道輸送安全目標は次のとおりです (平成23～27年度の5か年計画)

列車事故 (衝突・脱線・火災)	乗客の死亡を伴う事故を5年間発生させない
人身障害事故	5年間発生させない
踏切障害事故	5年間の発生件数を5件以下とする

【重点施策】

- ① 問題点早期把握による安全対策の推進
 役職員相互の双方向コミュニケーションを活性化することにより、問題点を早期に把握し、迅速な対応をとる。
- ② 事故情報の確実な伝達と対策実施による再発防止
 自社および他社の事故情報とその対策を迅速、正確に職員に伝達することや、過去の重大事故事例に学ぶことにより、同種事故の再発防止を図る。
- ③ 事故発生時の対応力向上
 事故想定訓練を定期的実施し、その結果の振り返りを活かすことにより、各職員の事故対応力の向上を図る。
- ④ 管理監督者による事故防止の推進
 管理監督者による添乗指導等現場作業への立ち合い実施により、気付き等を直接指導することで技能の向上と事故防止を図る。

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置（平成26年度）

（1）鉄道運転事故

鉄道運転事故0件、輸送障害（30分以上の遅延や運休）7件が発生、お客様にご迷惑をおかけいたしました。

①	平成26年	4月24日	車両故障	区間運休	7本	
②	平成26年	6月23日	車両故障	区間運休	5本、運休	4本
③	平成26年	7月9日	雷害	区間運休	8本、運休	1本
④	平成26年	11月22日	地震	最大遅延	45分	
⑤	平成26年	12月21日	冷害	区間運休	12本	
⑥	平成27年	3月2日	受電停電	区間運休	10本	運休10本
⑦	平成27年	3月9日	線路内支障	区間運休	6本	

（2）インシデント（事故の兆候）

国土交通省へ報告する、インシデントの発生はありませんでした。

（3）行政指導等

国土交通省より行政指導等はありませんでした。

3. 安全確保の取組み

（1）踏切安全対策

平成25年4月5日、4月24日と続けて別所線中野駅と舞田駅間の警報機と遮断機のない踏切（以下、4種踏切）で電車と自動車の踏切事故が発生しました。上田市、地元自治会との協議により、当該踏切である和手農道1号踏切および同様の危険が考えられる和手農道2号踏切、鴨池3号踏切を平成25年度に、新田農道2号踏切、和手2号踏切を平成26年度に自動車が通行できないよう処置を行いました。

別所線では4種踏切に踏切注意看板とバリカー（車両通行範囲を明示するポール）を設置し、事故防止に取り組んでまいりました。道路管理者である上田市にも一旦停止の看板の設置や、止まれの標記をしていただきました。

今後も分かりやすい注意書き看板の設置や地域の皆様と協議し車両の通行止め、踏切の統廃合等に取り組み安全の確保に努めてまいります。



(新田農道 2 号踏切)



(和手 2 号踏切)

(2) 安全輸送対策

・安全目標を達成するため、当社では安全輸送対策に取り組んでいます。主な安全輸送対策として車両の更新、軌間保持のためのコンクリートまくら木化、老朽化したまくら木の交換を実施致しました。

27年度以降も継続して着実な進捗に努めてまいります。

平成26年度安全輸送対策

○事業概要

事業名称	実施箇所
車両更新	7200系を6000系(さなだどりーむ号)に更新
コンクリートまくら木化	上田～別所温泉間 261本
まくら木交換	上田～別所温泉間 165本

○事業費

単位：千円

26年度実績	27年度計画
174,839 (車両更新ほか)	158,230 (踏切保安装置更新ほか)

(3) 人材教育

・新規就業者には各部門担当者により業務に関する教育を実施、鉄道係員としての基礎知識を習得させています。

・運転、駅、技術の各担当係員には年間の教育訓練計画をもとに教育を行い、知識の向上に努めています。

(4) 異常時の訓練

踏切事故を想定し、6月24日、25日に異常時運転訓練を実施しました。また、信号故障を想定し、2月24日、25日に模型を使い、指導通信式の訓練を実施いたしました。



(異常時運転訓練)



(指導通信式訓練)

(5) 安全推進会議の開催

四半期ごとに安全推進会議を開催して、過去に発生した運転支障（途中停車、踏切障害、輸送障害等）の発生状況の再確認と原因・対策について振り返りを行い対策内容に問題はなかったのか確認を行っています。また、事故には至らなかったもののヒヤリとした、ハットした、という情報を社内各職場から集約・共有し問題の早期発見につなげています。

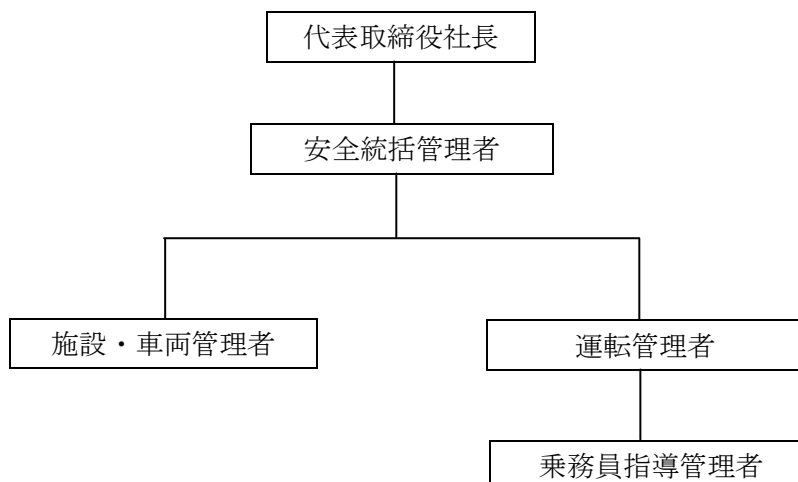
(6) 夏季輸送安全総点検、年末年始輸送安全総点検時に社長、安全統括管理者による安全巡視を実施。線路等の安全が確保できているか確認を行い改善点の指示をいたしました。



(安全巡視)

4. 当社の安全管理体制

代表取締役社長	輸送の安全に関する業務の最終的な責任を負う
安全統括管理者 (専務取締役)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者 (運輸部長)	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する
施設・車両管理者 (技術担当課長)	安全統括管理者の下、施設・車両に関する事項を統括する
乗務員指導管理者 (駅務区長)	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する



安全確保について一層の強化を図るため毎月全職員対象の「業務研究会」を開催し、その意見を各施策に具体的に反映させてまいります。

5. 発行 平成27年9月

6. 連絡先

安全報告書へのご意見、ご感想をお寄せください。

上田電鉄株式会社

長野県上田市下之郷498

TEL 0268-39-7117 (月～金 9時00分～17時00分)

FAX 0268-38-7951

E-mail unyu@ukg.co.jp